

歴史を感じる

# 安田会長の「まちばたけ温故知新」

のコーナー

## 町畑の伝説

桜ヶ丘団地から小久保に降りてくる途中の西側に、こんもりとした杉林があるのに気づくだろうか？ この林の中に、蔦林家が代々まつる「高清水神社」がひっそりとたたずんでいる。この神社は「千子大明神」とも呼ばれ、千魚又次郎（センコマタジロウ）と八百長歳（ハッピーヤクチョウザイ）兄弟がまつられている。

伝説によると、今から六百年ほど前までは、幅が三十メートル余の川が美保野の「ホロド」付近から小久保を経由して寺沢に入り、新井田川に合流していたそうだ。現在の都市下水路が川の跡ではないかと推測している。

この川は小久保川と呼ばれ、海から鮭・鱒（マス）が遡上し、農民たちが川筋に四十八か所もの魚留め（やな場）を作り、競って獲っていたという。中でも、神社にまつられている又次郎、長歳兄弟は「川ネコ」と言われるほどのベテランで、一晚に兄の又次郎は千尾、弟の長歳が八百尾も獲ったという伝説が残されている。それ以来、豊漁の神様として漁師に信仰されてきた歴史があるとのこと。

この伝説に興味を持った湊子ども会局長の石田清氏が、紙芝居の制作を企画している。町畑地区の伝説が紙芝居になることはとても光栄なことであり、今から完成が楽しみである。

PTA会長 安田勝寿



←高清水神社の写真を使いたかったのですが、屋根が壊れてブルーシートがかぶせてある状態なのでやめました。

替わりに、境内の湧水を写してきました。昔から涸れることなくこんこんと湧き出ているそうです。水道が無い時代には、地域の住人がここから湧き水を汲んで生活していたそうです。

## 華麗な泳ぎ ★プール朝会★

八月二十四日水、町畑小学校では初めてのプール朝会が行われました。この日は曇一つない晴天で日差しも強く、絶好のプール日和。五・六年生の中から選ばれた十二人が、日ごろの練習の成果を全校生徒の前で披露しました。蔦林校長の解説に合わせて、クロール、平泳ぎ、背泳ぎなど次々と華麗に泳ぐ五・六年生。その姿を見るたびに子どもたちからは「おおーっ」と大きな歓声が上がりました。上手に泳ぐ姿を見た子どもたちは、とてもよい刺激になったようです。



## 元気いっぱい ラジオ体操



七月二十二日（金）。町畑地区「めざせ健康家族町畑」をスローガンに、子ども会によるラジオ体操が町畑小学校でありました。子どもたちは眠い目をこすりながら、校庭に集まっています。ここでラジオ体操をするのは初日のみ。翌日からは、各町内会で行われ、子どもたちは、いつもと違うラジオ体操に、のびのびと楽しそうに体を動かしていました。